

平成27年度 社会福祉法人 進和学園 事業報告書

基本宣言“一人には一人のひかり”“医・職・住・友・悠”を基に、学園の基本方針・重点目標を「本人中心」・「健康と安全」とし、事業の推進をしてまいりました。障がい部門440名並びに保育園の園児263名が、この1年、明るく元気に過ごせたことは誠にありがたいことでもあります。これもひとえに皆様方のご理解ご支援あってこそ、七つの輪（本人、家族、地域社会、ボランティア、行政、職員、法人役員）の力と、深く感謝申し上げます。

障害者総合支援法の3年後の見直しが社会保障審議会障害者部会において審議され、改正法案がこの度参議院を通過しました。このような福祉施策の動向を注視しながら、関係団体とともに、真に利用者ご本人の自立に向けた取組みができる制度を要望してまいります。

これからもサービスの質を維持し、ご本人、ご家族が安心できるよう最大限努力するとともに、地域に貢献できる施設運営に努めてまいります。

I. 平成27年度目標の具体的成果について

《 重点目標Ⅰ 施設整備 》

1. 「いずみ保育園建替新築工事」について

平成26年度・27年度の2ヵ年事業として進めてまいりました、いずみ保育園建替新築工事（保育園・放課後等デイサービス・法人本部の機能を併せ持つ複合的な施設）が、多くの方々のご協力により、無事に完了いたしました。

平成28年3月18日に、神奈川県次世代育成課および平塚市保育課による建物完成検査を受け、同日、建物の引渡しが行われました。翌19日には、職員総勢80名で引越し作業を行いました。仮設園舎での10ヶ月の保育期間中、大きな事故等も無く、3月26日の卒園式は新園舎で行うことが出来ました。

万田ホーム駐車場に建てられていた仮設園舎は、4月末日で解体・撤去され、もとの駐車場に復旧しました。

2. 「グループホームの拡充」について

グループホームの夜間体制の強化と、障がいの重い人でも利用できる体制作り、小規模な暮らしを基本としたバリアフリーのグループホームについては、引続き検討していきます。

3. 「やましろホームの日中活動室の整備」について

やましろホームは開設から30年が経過し、高齢化により外での作業が難しい利用者が増えました。また、自閉的傾向や行動障がいのある方は、大きい集団での活動が難しい面があります。そこで、4人部屋を個室にする改修整備を行いました。日中活動室については、建築基準法等の制約もあるため、隣接するあさひホームとの包括的対応を考慮しつつ、引き続き検討してまいります。

《 重点目標Ⅱ 運営 》

1. 「人材育成の推進」について

人材育成キャリアパスチームとして組織改編してから、2年目の活動となりました。

「階層別研修」「スーパービジョンの展開」「自己研修」を3本柱に取り組みました。

「階層別研修」では中堅職員を中心に7回の研修を実施し、「スーパービジョンの展開」では7施設14名が主に利用者支援について各々目標を立て、バイザー・バイジー間でコミュニケーションが深まりました。「自己研修」では、国家試験に向けて勉強を開始した人、業務に関係の深い資格に積極的に挑戦し、見事合格した人など、各々が自分のペースで着実に研修を積み重ね、資質の向上へと繋がりました。

2. 「人事考課制度の確立」について

職員の意欲を引き出すこと、福祉サービスの向上と組織運営の効率化を図ることを目的に、「平成27年をふりかえって」という題名で、職員のヒアリングを行いました。評価票を作成し、職務遂行・貢献度に応じた自己評価・施設評価・法人評価を実施し、年度末の期末手当に反映しました。今後、より明確に課題意識が持てるよう評価軸の設定を検討していきます。

3. 「生活体系の検討・推進」について

- ①ビーライトしんわの放課後等デイサービス事業・・・タイムケア部門（定員 20 名）とグループ S S T（ソーシャルスキルトレーニング）部門（定員 10 名）の 2 種類のサービスを提供しました。利用実績は、タイムケア部門で 4,662 件（稼働率 92.5%）、S S T 部門で 1,626 件（稼働率 66.9%）でした。タイムケア部門は、下校時刻に学校へ迎えに行き、施設で過ごした後自宅にお送りしており、ご本人が安心して過ごせる場を提供すると同時に、働くご家族の支援にもなっています。グループ S S T 部門は、近年増大の一途をたどる「発達障がい」への支援ニーズに応えるべく、さまざまな運動や S S T を取り入れたグループ支援を行っています。また、平塚市子ども教育相談センターとの連携の下、学校巡回相談を 14 回実施し、学校の先生方からの直接相談にも数多く対応し、通常級に在籍する発達障がい児のための学習環境の整備や対応支援方法の検討に協力しました。さらに、平塚市からの要請を受け、グループ S S T の第二の拠点「しんわブライト」の開設に向けて、職員養成を始めとする準備に取り組みました。（しんわブライトは、平成 28 年 4 月 1 日より、定員 10 名で活動を開始しています。）
- ②サンメッセしんわ・・・生活介護 30 名と就労継続支援 B 型 30 名の多機能事業所として運営してきましたが、5 月より生産体制推進、運営の効率化を図るため、就労継続支援 B 型 60 名に統一しました。利用者ご本人の働くよろこび、工賃向上につながりました。
- ③利用者ご本人の高齢化、障がいの重度化に対する専門的ケアの必要性は高まっています。医療機関との連携、総合的な保健協力体制、支援技術の向上に引き続き努めています。在宅障がい児者の支援として、万田ホームは短期入所 2,617 件（稼働率 98%）、日中一時支援 589 件、やましろホームは短期入所 1,503 件（稼働率 102.9%）、日中一時支援 344 件、あさひホームは短期入所 1,610 件（稼働率 110.2%）、日中一時支援 219 件、はばたき進和は短期入所 2,873 件（稼働率 78.7%）、日中一時支援 125 件を実施しました。

4. 「相談支援事業」について

サンシティひらつか・・・総合相談窓口として業務体制の充実を図り、発達障がい、引きこもり、触法ケース、ファミリーケース等難しいケースにも柔軟に対応しています。国事業である「障害者就業・生活支援センター雇用安定等事業」、県事業である「生活支援等事業」「地域就労援助センター事業」、そして市事業である「障がい児・者 相談支援事業」「地域活動支援センター事業」「障害支援区分認定調査」など生活や就労の多岐にわたる支援を行っています。平成 27 年度の相談件数は 7,177 件であり、その中で雇用・就労関係の相談が 3,867 件、全体の 53%を占めています。平成 25 年 4 月より、民間企業に対する障害者法定雇用率が 1.8%から 2.0%に引き上げられました。さらに平成 30 年度には、精神障害者が法定雇用率の算定基礎の対象となることが決まっており、その流れを受けて、全国でも精神障害者の就労件数が急増しています。サンシティにおいても就労件数は増えていて、平成 26 年度の就労者は 44 名だったところ、平成 27 年度については 53 名の実績となりました。またサービス利用計画作成に係る対応・相談件数は 1,634 件であり、平塚市のサービス利用計画が必要な方の約 24%の相談を実施しました。平塚市では指定特定相談事業者が 16 ヲ所に増えましたが、その事業者間、また行政との連携、調整・支援に努めました。

ビーライトしんわ・・・障がい児相談支援事業に取り組みました。

相談支援事業は、今後とも幅広い支援が求められております。業務の充実には専門資格が欠かせないため、中堅職員を中心に外部・内部研修を行いました。

5. 「作業体系の充実」について

- ①自動車部品組立作業・・・本田技研工業様様の深い理解のもと 42 年にわたり発注いただいています。平成 27 年度は為替変動により国内生産と輸出部門が増え、作業収入が僅かに増収しました。平成 28 年度も受注増をめざし(株)研進と協同した受注確保に努力します。
- ②自動車部品以外の作業・・・収入目標を 1 億 3 千万円としておりましたが、平成 27 年度の売上は 1 億 4 千 8 百万円と目標を達成しました。生産事業推進会議を中心に、法人全体の横断的、柔軟的な生産事業体系をもって、受注並びに販路拡大に努めました。また各方面の

協力もいただき作業種目の拡大を推進しました。特に自主製品の生産については、サンメッセ、ルネッサンス、ともしびショップを窓口にも、平塚商工会議所の逸品研究会への参加し、市内商工関係者と連携のもと製品開発、販路拡大、イベント参加を通し、受注増に努めました。

- ③サンメッセの製パン・製菓・・・平塚市内小学校の学校給食に、小松菜とトマトを練りこんだパンを納入、また大磯、二宮のみかんを使用した「湘南みかんぱん」が全国逸品セレクション準グランプリに輝きメディアに取り上げられるなど、地産地消への取り組みが評価されました。特に、冷凍技術の導入により販路拡大ができ、当初の売り上げ目標を達成しました。
- ④ルネッサンスの農産品加工事業・・・平成 26 年 6 月の事業開始以来、2 年目を迎えました。27 年度は原材料のトマトの納入を増やし、生産増に努め、1,168 万円を売り上げました。
- ⑤施設外就労・在宅就業障害者支援制度の利用・・・在宅就業障害者支援制度を利用し、在宅就業支援団体である進和学園は、神奈川県公園協会のポット苗育成作業と高根台ホーム様の清掃作業を請負い、施設外就労として取り組みました。また同じく在宅就業支援団体である㈱研進と連携し、しまむらストア様のバックヤード作業と環境整備作業を請負いました。しまむらストア様に関しては、平成 28 年 1 月より、在宅就業支援団体の業務を㈱研進から引き継いでおります。
- ⑥就労移行支援・・・企業実習、就職面接、就職相談会等を支援し、平成 27 年度は 11 名、平成 18 年度からこれまでに合計 66 名の就労実績がありました。一般企業への就労を引き続き推進してまいります。障がい者雇用については平成 27 年度実績で雇用率 8.4%となり、障害者雇用調整金 7,182 千円を独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より受給します。
- ⑦いのちの森づくり・・・平成 27 年度も植樹・育樹の発注を多くいただきました。「いのちの森づくり友の会基金」については本田技研工業㈱様、㈱サンライフ様他より、継続して多額の寄付をいただき、就労支援のため活用させていただきました。また㈱研進と共同で他法人との連携に努めました。
- ⑧ともしびショップ湘南平・・・いずみ保育園の建替え工事に伴い、11 月より 3 月まで休業し、本部事務所として使用しました。従業員の高齢化や顧客動向の変化に伴い、染めふきん、工芸などアートをメインにした作業スペースと自主製品販売を行うお店として検討中です。
- ⑨福祉ショップ「ありがとう」・・・市内福祉関係団体がひとつになり組織した「ひらつか障がい者福祉ショップ運営協議会」により、平塚市役所新庁舎の 1 階東側多目的スペースにて営業しています。サンメッセで事務局を担当しています。販売は順調で、「ありがとう」における進和学園の売上は 500 万円を超えています。また、FM 湘南ナパサの「ナパサクラブ」に参画し、ラジオ番組『バリア！フリフリ天国』を受け持ち、福祉現場からの情報発信、福祉啓発に努めました。

II. 障がい施設運営について

「本人中心」「健康と安全」を基本として、一人ひとりの個別支援計画の目標をもとに支援ができるよう、ほほえみある、さわやかな施設運営に努めました。各施設の機能と役割をもって、児童療育支援を含んだ幅広い年齢層・障がい程度の利用者へ支援を行いました。高齢の介護度の高い方、行動障がいを伴う方の生活支援と、中・軽度の方の就労支援を推進しました。

1. 防災について

防火管理者会では各事業所の本人防災委員と共同で活動をしています。毎年、平塚市災害対策課、地域消防団の協力のもと、総合防災訓練を行っています。平成 27 年度は、11 月 5 日に万田・高根地区で、11 月 19 日に土屋・吉沢地区で実施しました。事業所毎では月に 1 度、地震や火災などあらゆる災害を想定した非常災害訓練を行いました。また各事業所ごとの BCP(事業継続計画)の作成に着手し、AED・心肺蘇生法の講習会を職員対象に開催し、有事の際には迅速かつ、冷静な対応が出来るようにしています。

2. 保健活動について

利用者ご本人の通院に関する業務や内服薬の管理、毎月の血圧・体重の計測、日常の衛生への呼びかけを実施。また年2回の嘱託医による健康診断をはじめ、各種検査（胸部レントゲン、血液検査、尿検査、検便等）の他、口腔健診も実施しました。人間ドック（131名受診）、婦人科健診（24名受診）の結果をふまえ、健康の維持・増進、疾病の早期発見・早期治療を図るため個別的な具体策を計画・実施しました。それにより癌など命に係わる疾病の早期発見・早期治療が実施できました。インフルエンザ対策としてはワクチンの接種（全体で703名）を実施し、また健康助成規定により職員の間ドック（107名受診）も実施しました。

3. 本人活動の充実について

しんわ本人自治会連合会では、「自分で選んで自分で決める」「本人中心」を徹底してまいりました。各施設の活発な自治会活動をもとに毎月の連合会役員定例会を開催し、年1回の総会は6月6日（土）平塚市西部福祉会館にて開催しました。また本人自治会連合会が中心となり年末募金活動を行い、各団体に皆様の善意をお届けしました。さらに、「しんわ文化スポーツ振興会」との協力体制のもと、余暇の同好会活動と各種行事に積極的に参加しました。

4. しんわさわやか相談室について

法人さわやか相談室は、6月27日（土）に開催し、第三者委員2名、ボランティア1名、本人代表3名、家族代表2名に出席していただき、平成26年度の各施設及び保育園の相談・苦情実績を報告しました。（施設部門の相談件数12件・苦情件数7件、保育園部門の意見・要望件数7件）現在、進和学園を利用している方は500名程になっており、対応が難しいケースも増えてきていることから、今まで以上の配慮が必要となるため第三者委員の方への協力をお願いしました。

施設さわやか相談室は、ご本人及びご家族からの相談・苦情を随時受け付け、ご本人の自立を支援してきました。湘南西地区苦情解決委員会では、第三者委員2名が各施設を訪問、各施設の本人自治会との懇談や施設見学を行っていただきました。

5. 主な全体行事

①学園感謝デー（あじさいまつり）を、6月26日（金）～6月28日（日）万田・高根地区と土屋・吉沢地区の2ヶ所で開催しました。

万田・高根地区では、地域の皆さまをはじめ、平塚市長様、本田技研工業様、日頃よりご支援いただいている方々においていただき、湘南平に植栽した200種4000本のあじさいが美しく咲いている様子を見ていただきました。また、陶芸体験、絵手紙教室、お茶席を催し、自主製品の販売も好調でした。

土屋・吉沢地区では工芸体験、どんぐりポット苗づくり、お花のマグネットづくり、音楽コンサートなどを開催し、演奏で参加した地域中学校の生徒さんとも交流ができました。

②第42回平塚市緑化まつりが4月25日（土）～26日（日）の2日間、平塚市総合公園にて開催され、「平塚市民の花なでしこ」の苗約1,000鉢を市民の皆さんにお配りしました。また地域の公民館、自治会館にも苗をお届けし、市民の皆さんよりたくさんの感謝のお言葉をいただきました。

③第65回湘南ひらつか七夕まつり（7月3日（金）～5日（日））に出展しました。「にっこり げらげら わっはっは！～世界にとどけ！みんなの笑顔～」をテーマに、学園の陶芸品「笑べえ」をモチーフにくす玉や貼り絵を制作し、毎年ご協力くださっている田中紙店前に3本の竹飾りを掲げました。大きな折鶴にLEDライトを取り付けるなど新しいアイデアも取り入れて、竹飾りコンクール昼の部で入選しました。仙台和紙を使用した折鶴や鈴を入れた星の飾りの細かい細工が目を惹き、立ち止まって感触を楽しむ方も多く、皆さんに喜んでいただくことができました。

- ④第17回さわやか文化スポーツ大会を、平成27年10月3日(土)「ひらつかサン・ライフアリーナ」(平塚市馬入公園)にて開催しました。参加者は、地域ご来賓はじめ、総勢713名。競技指導者、ボランティアのご指導のもと、13種目の中から本人自らが競技を選んで参加し、スポーツを楽しむ機会を得ることが出来ました。自主製品の販売、絵手紙・生花・その他文化作品の展示を行い、文化・スポーツを通じて、多くの人とふれあい、さわやかな一日を過ごすことができました。
- ⑤本田技研工業様とは、以下のとおり楽しく有意義な時間を過ごすことができました。
- ・6月26日(金)学園感謝デー・あじさい祭りに、埼玉製作所完成車保証室より3名が来訪され、HONDA Tシャツをいただきました。
 - ・7月22日(水)、24日(金)第86回都市対抗野球大会の応援に、利用者ご本人・ご家族・職員で応援団を結成、東京ドームで観戦しました。
 - ・8月2日(日)真夏の祭典(埼玉製作所)に参加。
 - ・12月17日(木)クリスマスに向けて購買本部・各製作所皆様が来訪され、心温まるプレゼントを沢山頂きました。
 - ・1月17日(日)埼玉製作所の新春駅伝2016に利用者ご本人と職員で参加しました。
- ⑥ボランティアこぐま会様の協力のもと、第11回大山登山を10月31日(土)に実施しました。各施設では全体旅行を実施しました。
- ⑦旭南地区、土沢地区の社会福祉協議会、自治会、民生児童委員の方々を一日園長としてお迎えして、地域交流を図りました。

6. 月報しんわ

学園の活動報告や情報発信の手段として、年6回、隔月に1,306部発行しています。月報編集委員会を中心となって、読みやすく且つ内容の充実に努めています。関係者はじめ地域、ボランティア、社会ご支援者、行政に配布しています。今年からはホームページでも公開し、情報開示に努めました。

III. 保育園運営について

いずみ保育園は、利用定員を20名増やし140名定員となりました。富士見保育園は、築37年を経過し、建物の維持管理のため施設整備(園舎塗装工事)を計画しております。子育て支援の拠点施設として、一時預かりや解放保育の保育ニーズに対応しております。引き続き、いずみ保育園・富士見保育園ともども平塚市の待機児童対策の一端を担います。

つどいの広場どれみは、在宅の乳幼児と親が気軽に集える場として、計8,579名の方が利用されました。

IV. 職員の処遇について

一人一役を合言葉に、一人ひとりが学園運営に参加することを主眼に各種事業を展開しました。

1. 職員互助会について

職員の福利厚生を推進するため、法人全職員参加のもとに互助会を設立して19年。有効に運用され、職員の安心感は深いものがあります。平成27年度は職員健康共済規定出産休業援助事業による出産給付金の支給が10名と大変多くありました。一般疾病による療養給付金も9名が受けています。進和会(家族会)の助成に深く感謝します。

2. 労務について

職員労務委員会と協調してすすめました。厳しい経済情勢ですが、ご本人への支援向上のため互いに努力していく事を申し合わせしました。平成27年度はマイナンバー制度導入に対応するために、就業規則を変更し、労働基準監督署へ提出しました。

3. 職員研修について

職員の資質向上のため、各種研修会の実施及び積極的な参加を図りました。特に法人内で実施した研修は、経験年数ごとの「施設現場見学会」(31名参加)、愛名やまゆり園への「法人外見学会」(9名参加)、「法人内交流研修」(10名参加)、「種別間研修」(6名参加)、「理事長講話会」(25名参加)、「施設長等講話会」(20名参加)、人材育成キャリアパスチ

ームと協力して「階層別研修」(191名参加)を実施し、広い視野で現場での支援に活かしていけるような研修会を実施することが出来ました。

講演会は、古武術介護塾の福井氏に講演を依頼し、11月13日(金)しんわルネッサンスにて「古武術介護」(44名参加)を実施し、介護現場での実践に役立てました。

また、12月4日(金)には進和学園職員の親睦交流を図るため、大磯プリンスホテルボウリングセンターにて「職員ボウリング大会」(117名参加)を実施し、大変有意義な交流会となりました。

4. 永年勤続職員表彰について

平成27年度永年勤続者は、勤続5年(25名)、10年(10名)、15年(5名)、20年(3名)、25年(3名)、30年(2名)、35年(2名)、40年(1名)計51名です。障がい部門は6月12日(金)に、保育部門は7月9日(木)に、感謝金を贈り、表彰感謝を実施しました。職員364名のうち継続職員229名、嘱託職員30名、準職員105名となります(常勤職員率71%)。男性職員は140名、平均勤続年数12年、平均年齢40歳です。女性職員は224名、平均勤続年数7.9年、平均年齢41歳です。

V. 理事会・評議員会開催の状況

開催日時	出席者	審議・承認事項
評議員会 平成27年5月17日(日) 10:00~11:30 サンメッセしんわ	評議員17名	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度事業報告について 決算報告について 監事監査報告 いずみ保育園再整備計画の進捗状況について
理事会 平成27年5月17日(日) 13:30~15:00 サンメッセしんわ	理事8名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 運営規程の一部改定について 理事・監事の選任について(評議員会) 評議員・理事の委託並びに理事長の互選について(理事会)
評議員会 平成27年11月23日(月) 10:00~11:30 いずみ保育園仮設園舎	評議員20名	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度第1次資金収支補正予算について いずみ保育園再整備の進捗状況について マイナンバー制度に係る対応について 1就業規則の一部改定について 2個人番号及び特定個人情報取扱規定について 規定の作成及び一部改定について 1保育園運営規定の作成 2改正労働安全衛生法に係る規程の一部改定 3障がい施設運営規程及び財産管理規定の一部改定
理事会 平成27年11月23日(月) 13:30~15:00 いずみ保育園仮設園舎	理事9名 監事1名	
評議員会 平成28年3月27日(日) 10:00~11:55 いずみ保育園	評議員19名	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度第2次資金収支補正予算について 平成28年度事業計画(案)について 1法人事業計画・日程について 2利用者状況(市町村別一覧)並びに職員構成表について 3自立支援サービス計画図並びに組織図について 4生産事業推進計画について (事業計画図・自主製品販売先一覧) 5人事計画(職員配置表)並びに採用職員について 6福祉・介護職員処遇改善計画書について 平成28年度当初予算(案)について いずみ保育園建替新築工事の状況及び工事費に係る法人自己資金の積立金取り崩しについて 定款変更について 規程の一部改定について 1経理規程 2職員等健康助成規定
理事会 平成28年3月27日(日) 13:30~15:40 いずみ保育園	理事9名 監事2名	

平成28年5月29日
社会福祉法人 進和学園